

こんにちは、
ゆっくり
買い物してね。



子どもの時の、お店の人とのちょっとした会話を覚えていませんか？忙しい毎日だからこそ、お店の人とのやりとりを楽しむ余裕を持っては。ゆっくりペースで買い物をしている人にも、そんな気持ちで接してみよう。

hello



自分で
買い物したい！
そんな思いに
応えたい

コラム 買い物のときのちょっとした周囲の配慮

- ▼お金がわからなくなってしまった子どもには、見本を示して「これと同じだよ」と教えてあげると分かる場合もあります。
- ▼ゆっくりペースの子どもに、手伝うつもりでカバンや財布に手を触れたりすると嫌がられることがあるので気をつけましょう。
- ▼他の人がしかられているのを見たり、強い調子で話をされると自分がしかられているように感じてしまう子どもがいるので、やさしい言葉がけを。
- ▼身体に触れられたり近づかれると怖がる子どももいます。頭をなでたりするのはなく、言葉や表情でほめてあげてください。



「凸凹Kidsすべいす♪」では、こんなことに取り組んでいます。

発達障害や知的障害のお子さんの将来の自立のために必要な「生きる力」を学べる教室として誕生しました。日々の生活にかかせないお金の使い方や人付き合いなど「生きるために必要なこと」を個人のニーズにあわせて楽しく学んでいます。

平成27年4月から世田谷区粕谷で放課後サービスを開業予定です。



▶協力 凸凹Kidsすべいす♪
▶連絡先 03-5314-9876
<http://decoboco-kids.jp>

「はじめてのお使い」をした時のことを覚えていますか？間違えないかとドキドキ、「エライね」と言われて誇らしげに思った、そんな気持ちは、昔も今も変わりません。

ひとりで買い物することは、社会にかかわるきっかけをつくる大切な行動です。

発達障害の子どもたちの生活支援をしている「凸凹Kidsすべいす♪」の渡部優子さんは、「子どもたちが一人で買い物ができることは自立の第一歩。そのため、お店でのやりとりやお金の理解を練習しています。しかし、何より大切なのは、お店や周囲の理解です」と言います。

一人でも買物ができるうれしさは誰でも同じ



高年齢者や障害者、外国人も、同じかもしれません。多様性を認めながら、いろいろな人のペースにあわせて買い物や活動ができるまちなったらうれしいですね。

まちには、人とのやりとりが苦手な子どもや、お金の計算がすばやくできない子どももいます。そんな子どもたちの様子に気が付いたら、せかしたり急い手を出したりするのはなく、ゆっくり対応することが大切です。

ゆっくりペースの買物心が豊かにする